

# (20)-1 損傷の軽微なタイル陶版の補修(無機フツ素塗料のタッチアップ補修工法)

剥落の恐れのない大型タイルのタッチアップ補修 (※仕上げフツ塗料の色調は全て特注色扱いになります。)

## 施工手順

## 施工方法

(塗料の塗継適正についてはメーカー確認を行ってください。)

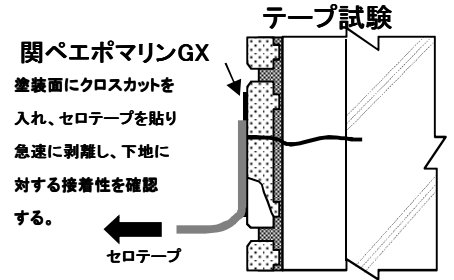
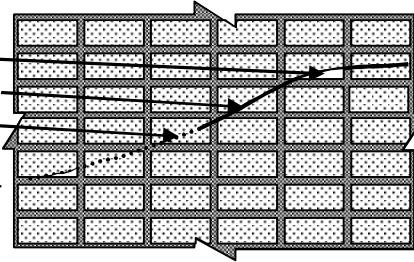
補修範囲及び塗装材と  
下地の接着性確認

- ・事前調査に於いて、塗装プライマーエポマリンGXと下地材の接着性確認を行う。(テーピング試験)
- ・目視・打診により劣化範囲を確認し、ひび割れに沿ってマーキングし補修範囲を確定する。

OK

タイル陶板の補修

- 陶板欠け
- ひび割れ(0.2mm以上)
- ひび割れ(0.2mm以下)



サンダーケレン  
清掃・溶剤拭き

- ・ディスクサンダーケレン・清掃

タイルひび割れ  
0.2mm以上

- ・ひび割れ部分の表面をエポキシ樹脂パテ材で(クイックメンダー等)注入座金を取り付けシールする。(状況に合わせて、剥離性の良好な剥離ポンドシールONEを使用する。)

シール  
注入座金取付け

低圧注入器具  
取付け

- ・注入用エポキシ樹脂を規定配合比で混合し、
- ・注入材ポンドE206(主剤A:硬化剤B=2:1)ポンドシリンダーに充填し注入孔へ取付ける。

シール・座金  
撤去ケレン

- ・低圧注入完了後、注入器具、シール材座金を撤去ケレンを行う。(シール材が除去し難い場合は弊害が出ない様にバーナー加熱を併用する。)

タイル欠け補修

ケレン清掃

プライマー塗布

断面修復

タイルひび割れ  
0.2mm以下

エポキシ樹脂  
薄塗り

塗装養生・塗装下地処理

エポキシ樹脂系  
下塗材塗布

ムキフツ  
中塗材塗布

ムキフツ  
上塗材塗布

完了

- ・タイル陶板の欠けを撤去しケレン清掃を行う。

- ・ハケにより欠損部分へ塗布する。
- ・ポンドユニエポ補修用プライマー

- ・金ゴテ押さえによりエポキシ樹脂モルタル成形する。
- ・ポンドKモルタルの混合比(主剤A:硬化剤B=1:2)

- ・揺変性エポキシ樹脂材を・ゴムヘラでひび割れ表面に塗布する。ポンドE209(主剤A:硬化剤B=1:2)

- ・塗装範囲の周囲を塗装養生する。
- ・塗装下地面を溶剤拭きする。(エポキシシンナー等)

- ・関西ペイント エポマリンGXをハケで塗布する。(塗布量0.16~0.18kg/m<sup>2</sup>)
- 配合比(主剤:硬化剤=16.2:1.8)希釈:テクトEPシンナー 0~5%
- ・塗継ぎ間隔(16時間以上~7日以内)20℃

- ・関西ペイント ムキフツ中塗りをハケで塗布する。(塗布量0.12~0.14kg/m<sup>2</sup>)
- 配合比(主剤:硬化剤=10:1)希釈:塗料用シンナーA 0~5%
- ・塗継ぎ間隔(8時間以上~7日以内)20℃

- ・関西ペイント ムキフツ上塗りをハケで塗布する。(塗布量0.13~0.16kg/m<sup>2</sup>)20℃
- 配合比(主剤:硬化剤=14:1)希釈:塗料用シンナーA 0~5%
- ※目地汚染は目地材をタッチアップして修正する。

